

# あの『ペコロスの母に会いに行く』が、 ついに映画化!

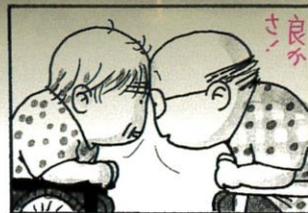
原作は、長崎在住の漫画家・岡野雄一のエッセイ漫画『ペコロスの母に会いに行く』。

深刻な社会問題として語られがちな介護や認知症。

でも、主人公のゆういちがこう言います。“ボケるとも、悪か事ばかりじゃなかかもしれん”。

そんな自身の体験をもとに描かれた認知症の母との何気ない日常が、多くの共感と感動を呼び、  
現在16万部を超えるベストセラーに。

そして、ここにまったく新しい介護喜劇映画が誕生しました!



笑いと愛を  
おとどけします。

だいたいぶ。  
なにかと不安も  
おありでしょうが、

## 復活!! 喜劇映画の巨匠

森崎東監督、85歳

豪華キャストと日本映画の底力が集結

監督は『喜劇・女は度胸』『男はつらいよ フーテンの寅』など卓絶した人情喜劇で映画ファンを唸らせてきた森崎東。『ニワトリはハダシだ』以来、実に9年ぶりの最新作に益々盛んな映画への情熱をぶつけます。ときにペーソスを湛えながら、ユーモアたっぷりに主人公ゆういちを演じるのは岩松了。もうひとりの主人公みつえ役に赤木春恵。89歳にして映画初主演となる本作で実母の介護経験を活かした迫真の演技を披露。若き日のみつえに原田貴和子、夫のさとるに森崎監督の薫陶を受けた加瀬亮。さらに、原田知世、竹中直人、宇崎竜童、温水洋一など豪華キャストが集結!!

森崎東監督の復活作に集まったのは、俳優たちだけではありません。撮影監督に、森崎作品『生きていうちが花なのよ死んだらそれまでよ党宣言』でカメラマンとしてデビューし、アカデミー賞®外国語映画賞を受賞した『おくりびと』の浜田毅。音楽プロデューサーに『千と千尋の神隠し』の大川正義と日本映画界を代表する実力派スタッフが集まりました。そして、作品に感動したという歌手の一青窈が主題歌『霞道』<sup>かすみじ</sup>を書き下ろしました。

「ペコロスの母に会いに行く」書籍発売中  
岡野雄一著／西日本新聞社／1,260円(税込)



主催 社会福祉法人 神戸市長田区社会福祉協議会  
神戸市長田区共同募金委員会

後援 長田区役所

【問い合わせ】神戸市長田区社会福祉協議会

☎ 511-4277